

★ 8月24日（木）保育園・企業を訪問



【大きな兜ができたよ！次は何ができるかな】



【園長先生たちとの質疑応答の時間】



【ジュエリーショップの前で】

★ トゥントゥラ保育園を訪問

ジェンダー・男女平等の専門教育を受けた先生が教育活動を行っている保育園を訪問しました。

園児との交流の時間を持ち、折り紙などを通して日本文化を紹介しました。園児と一緒に子どもの頭にかぶれるほどの大きな兜を新聞紙で折ったり、飛行機を折って飛ばしたりすると大喜びでした。

折り紙の色の選び方を見ていると日本の子どもによく見られる「男の子の色」「女の子の色」という固定観念は全くなく、一人ひとりの子どもの自己選択、自己決定によるものであることに気づかされました。

日ごろから絵本の内容やおもちゃなども男女の観念を取り払った保育実践がなされるとともに、普段の園児の活動の様子をビデオ撮影して、子どもの振る舞いに性差の固定観念が無意識に出てしまっていることはないかとチェックする体制も整っていました。幼いころから男女の役割の固定観念にとらわれることなく、男女平等の意識を育み、子ども個人の能力や特性が発揮できるようになっているのだと感じました。

園長先生から、「日本では男女平等がどれくらい浸透しているのですか。どんなところに性差を感じますか」と問いかけられ、お答えしますと、先生から「みなさんが勇気をもって日本の社会を変えていかなければならない」と私たちへの期待と励ましの言葉をいただきました。

★ フィンランドのアクセサリーの老舗
「カレワラ・ジュエリー (Kalevala koru)」を訪問

国から「価値ある企業10選」にも選出されている、アクセサリーの製造販売を行っている会社を訪問し、企業におけるジェンダー施策について調査しました。

研磨や装飾を行う工房でも大勢の女性が働く姿が見られ、労働者の7割が女性で占めている会社です。そのため女性へのサポート体制が手厚く、育児休暇後の再就職の保証、男女同等の給与体系や産休取得推進など男女平等の職場環境作りが奨励されていました。

8月25日（金）ユネスコスクール「ヘルシンキ国際高等学校」を訪問



【ヘルシンキ国際高校の校庭で記念撮影】



【「日本・東京紹介ガイドブック」の内容に興味津々】



【白熱した討論会】



【校長先生にお別れのご挨拶】



学校訪問を行い、高校生同士の交流をもつことができました。

先生方のあたたかい歓迎を受け、全校朝礼に参加させていただきました。

私たちの学校もユネスコスクールに加盟していますが、ユネスコの持続可能な精神を表す「グリーンフラッグ」の掲揚式が朝礼時におこなわれました。

ユネスコ憲章に示された理想の実現に貢献するために世界の高校生が積極的に活動していることを改めて認識することができました。

その後、グループに分かれて、日本の遊びを紹介したり、お抹茶をふるまったりしました。茶道を通して日本の「おもてなし」の心に触れていただけたようで、生徒さんたちが大変喜んでくださいました。

また日本への修学旅行が予定されていることを事前に伺っていたので、私たちの学校の世界史と英語のクロスカリキュラムで作成した英語による「日本・東京紹介ガイドブック」を日本から持参し、プレゼントさせていただきました。

私たちの研究テーマである「ジェンダーギャップ」について、英語で討論会をもちました。フィンランドの生徒も英語は私たちと同じ第2外国語ですが、お互いに自国の状況や自分の考えを述べ、真剣に討議していくことができました。それぞれの社会が抱える問題や文化の違いを、高校生の視点で伝え、学び合うことのできた貴重な時間となりました。

